

2025年5月13日

各位

会社名 大日本印刷株式会社
代表者 代表取締役社長 北島 義斉
(コード番号 7912 東証プライム市場)
問合せ先 IR・広報本部長 若林 尚樹
(TEL 03-6735-0124)

株主提案に対する当社取締役会意見に関するお知らせ

当社は、マネックス・アセットマネジメント株式会社を投資信託委託会社とし日本マスタートラスト信託銀行株式会社を受託者とするマネックス・アクティビスト・マザーファンド（「提案株主」）より、2025年6月27日開催予定の当社第131期定時株主総会（「本定時株主総会」）において、取締役選任の件に関する株主提案（「本株主提案」）を行う旨の書面を受領していましたが、本日開催の当社取締役会において、本株主提案について反対することを決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 本株主提案の内容

(1) 提案する議案

取締役選任の件

(2) 議案の要領

別紙（本株主提案の内容）に記載のとおりです。

なお、提案株主から提出された本株主提案の書面の該当箇所を原文のまま掲載しております。

2. 本株主提案に対する当社取締役会の意見

当社取締役会は、独立社外取締役3名のみで構成された諮問委員会での審議結果を踏まえ、**本株主提案に反対**いたします。

- (1) 当社は、わが国のコーポレートガバナンス・コードに準拠した「取締役・監査役候補者の選定プロセス」を定めており、候補者については、取締役会より諮問を受けた諮問委員会において確認、審査、その後の諮問委員と候補者の面談等を踏まえて入念な審議を行ったのち、取締役会に答申し、取締役会で決定いたします。

(2) 当社は現在、2023年に掲げた「DNPグループの経営の基本方針」に基づき、挑戦的な3か年の中期経営計画を実行中です。2年目である2024年度は、目標を上回る業績となり、増配などの株主還元策も決定いたしました。中期経営計画の最終年度にあたる本事業年度(2025年度)においても、現経営体制は維持し、資本市場との対話を一層推進しながら、さらなる成長に挑みますが、その先を見据えた中長期的な発展のためには、さらなる人的資本の活用が必要と考え、その分野の見識が深く、起業経験・経営経験もある熊平美香氏を、新たな社外取締役候補者としていたしました。熊平氏が取締役会の一員に加わることで、当社のスキルマトリクス上も、他の社外取締役候補者のスキルを補完できる体制となることから、当社の経営課題に、取締役会としてバランスよく議論できるようになり、それに加えて、取締役会の独立性、多様性、客観性が一層強化され、当社ガバナンス体制のさらなる向上につながると確信しています。

(3) 本株主提案にかかる候補者(「本候補者」)につきましては、諮問委員会において上述のプロセスに則り、本候補者との面談も経て、当社社外取締役に期待または必要とされる能力・資質及び経験について厳正な審議を行い、その結果を踏まえて、取締役会において審議しましたが、本候補者が当社の持続的成長と中長期的な企業価値向上に十分な貢献を行うことができるとの確信が得られず、本株主提案に反対するとの判断に至りました。具体的には、以下のとおりです。

本候補者は、エレクトロニクス関連企業の研究職を務められた経験から、特定の技術領域における専門的な知見を持ち、また証券会社のセルサイドアナリストの経歴を有する方ですが、企業経営経験や上場企業の取締役経験は有されていません。

当社取締役会は、注力事業であるエレクトロニクス分野に関する見識・経験が豊富な者を有しており、当社における産官学連携の取り組み等を推進する中で、外部から専門領域についての必要な知見を活用することができております。また、当社は株主・投資家との対話を重視し、IR・SR体制を強化してきました。資本市場と向き合い、取締役会にフィードバックして経営方針に反映させるプロセスも確立しています。

現在当社は、注力事業領域への集中投資と事業構造改革の推進を最重要課題に位置付けている中で、企業経営の観点から多面的かつ実効的に取締役会の議論に貢献しうる人材を「社外取締役」像としています。このような人材像に本候補者は合致しないとの評価に至りました。

(4) 以上の理由から、当社取締役会としては、当社が本定時株主総会で提案予定の新取締役会の体制こそが、当社の企業価値ひいては株主共同の利益となる最も適切な体制と判断し、本株主提案には反対いたします。

以 上

別紙 本株主提案の内容

1. 提案する議案：取締役選任の件

2. 議案の要領：以下の候補者を社外取締役として選任する。

(1) 候補者

候補者の略歴：

氏名・生年月日	
木下 敦寛 きのした あつひろ 1974年10月14日生	
略歴および重要な兼職の状況	
2002年4月	株式会社東芝 研究開発センター
2006年10月	スタンフォード大学 客員研究員
2017年4月	東芝メモリ株式会社
2018年8月	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 産業調査アナリスト
2021年9月	株式会社フィックスターズ
2021年11月	株式会社 Fixstars Amplify (現任)
所有する当社の株式数	
0株	

(2) 提案の理由：

昨年の定時株主総会において、事業ポートフォリオ改革を促進する目的で、競争戦略を専門とする社外取締役の選任を提案いたしました。その後、当社はエレクトロニクス事業への注力を明確に打ち出し、素晴らしい経営判断であると高く評価しております。

今後、半導体業界全体の潮流を的確に捉えつつ経営判断を行っていくためには、技術と資本市場の双方に精通した知見が不可欠です。提案者が推薦する木下氏は、半導体技術者としての開発経験とセルサイドアナリストとして業界分析経験を兼ね備えます。

木下氏はセルサイドアナリストとして、投資家との対話経験も豊富であり、資本市場の視点も取締役会にもたらすことができると考えております。木下氏が当社の取締役会に加わることは、取締役会の独立性、多様性、議論の質を高め、様々なステークホルダーの利益、ひいては企業価値向上に資するものと確信しております。

なお、木下氏は提案者から完全に独立した立場で社外取締役の職務を行うことが可能であり、提案者との間に取引関係などの一切の利害関係はなく、一切の義務・責任を負っておりません。

以上